平成23年度 財政状況資料集

							指定用体等	の指定状況	区分	平成23年度(千円)	平成22年度(千円)	区分		平成23年度(千円・%)	平成22年度(千円・
都道府県名	É	引取 県	市町	T村類型	I -	2	相足凹体等	切相是认此	歳入総額	3, 435, 902	3, 559, 807	実質収支比率		8.8	11
							財政健全化等	×	歳出総額	3, 187, 090	3, 258, 203	経常収支比率		86. 1	83
							財源超過	×	歳入歳出差引	248, 812	301, 604	(※1)		(91.0)	(90.
市町村名	E	3野町	地方交	を付税種地	2-	1	首都	×	翌年度に繰越すべき財源	44, 421	16, 574	標準財政規模		2, 319, 243	2, 453, 3
							近畿	×	実質収支	204, 391	285, 030	財政力指数		0. 17	0.
	22年国調(人)	3, 745			業構造 (※5)		中部	×	単年度収支	-80, 639	159, 910	公債費負担比率		18. 1	1
人口	17年国調(人)	4, 185		生	·未構造(公り)		過疎	0	- 積立金	162, 154	200, 675	健全化判断比率			
	増減率 (%)	-10. 5	[区分	22年国調	17年国調	山振	0	繰上償還金	-	-	実質赤字比率		-	
	24.03.31(人)	3, 688	4	第1次	311	387	低開発	×	積立金取崩し額	77, 936	3, 380	連結実質赤字比率		_	
住民基本台帳人口	口 23.03.31(人)	3, 791	Я	売Ⅰ 次	18. 3	18. 9	指数表選定	0	実質単年度収支	3, 579	357, 205	実質公債費比率		22. 6	2
	増減率 (%)	-2. 7	4	第2次	387	527			基準財政収入額	350, 817	352, 040	将来負担比率		81.0	11
面積(k㎡)		134. 02	Я	希∠ 次	22. 7	25. 7				2, 096, 802	2, 178, 963	資金不足比率(※4)			
人口密度(人/km	ที่)	28	4	# 0 v/m	1, 005	1, 126			標準税収入額等	445, 063	445, 742				
世帯数(世帯)		1, 371	Я	第3次	59.0	54. 9			— 経常経費充当一般財源等	2, 036, 493	2, 104, 322				
			職	員の状況					歳入一般財源等	2, 889, 888	3, 062, 202				
	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均							
区分	上	給料月額(百円)				(人)	(百円)	給料月額(百円)	地方債現在高	3, 166, 540	3, 485, 418	1			
市区町村長	1	6, 715		一般職員	Į	57	180, 918	3, 174	うち公的資金	2, 249, 795	2, 438, 750				
副市区町村長	-	_	_ - 般	うち消	肖防職員	-	-		- 債務負担行為額(支出予定額)	329, 466	290, 787	1			
教育長	1	5, 198	職	うち技	支能労務職員	4	11, 684	2, 921	収益事業収入	-	-				
議会議長	1	2, 926	り 等	教育公務	务員	-	-		土地開発基金現在高	16, 324	16, 324				
議会副議長	1	2, 175		臨時職員	1	-	-		財政調整基金	1, 054, 312	770, 094	1			
議会議員	8	2, 090		合計		57	180, 918	3, 174		40, 111	40, 103				
				ラスパイ	/レス指数(※6)		101.9	(94. 0)	その他特定目的基金	71, 660	57, 058				
- 般会計等の一覧		古光	会計の一	臣仁			公営企業(法適)	○ ■ =	公営企業(法非適)の-	Et-	関係する一部事務約		## + /	第三セクター等一覧	
- 阪云司 寺の一員 頃番	会計名	事未 項番			会計名		(五四年 (五四) 項番	・の一 _見 会計名		一 _見 会計名	東海 の一 中争 が で	祖古等一見 組合等名	項番	ラニセクター寺一員 団体名	(※3
(1) 一般会計		(2)	国民健愿	康保険特別会	会計				(5) 簡易水道特別会計		(8) 鳥取県西部広域	行政管理組合	(16) 奥日野	上地開発公社	
		(3)	介護保障	険特別会計					(6) 公共下水道事業特別	会計	(9) 鳥取県町村消防	5災害補償組合	(17) まちづく	くり日野	
		(4)	後期高幽	齢者医療保障))				(7) 農業集落排水事業特	別会計	(10) 鳥取県町村消防	災害補償組合	(18) 日野町島	豊林振興公社	
											(11) 鳥取県町村職員	退職手当組合			
											(12) 日野町江府町日	南町衛生施設管理組合			
											(13) 鳥取県後期高齢				
											(14) 鳥取県後期高齢				
												, a company control of the control o			
											(15) 日野病院組合				

 ⁽注釈)※1:経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2:各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3:地方公共団体が損失補塡等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。
※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5:産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、平成22年国調は分類不能の産業を除き、平成17年国調は分類不能の産業を含んでいる。
※6:ラスパイレス指数の()内の数値は、国家公務員の時限的な(2年間)給与改定特例法による措置が無いとした場合の値である。

(1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の					地方税の			
区分	決算額	構成比		構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	383, 167	11. 2	383, 167	17. 1	普通税	383, 167	100.0	31, 025
地方譲与税	35, 418	1.0	35, 418	1. 6	法定普通税	383, 167	100.0	31, 025
利子割交付金	1, 036	0.0	1,036	0.0	市町村民税	106, 769	27. 9	-
配当割交付金	456	0.0	456	0.0	個人均等割	4, 747	1. 2	
朱式等譲渡所得割交付金	95	0.0	95	0.0	所得割	87, 240	22. 8	-
也方消費税交付金	35, 896	1.0	35, 896	1.6	法人均等割	9, 956	2. 6	
ゴルフ場利用税交付金	_	_	_	_	法人税割	4, 826	1.3	
寺別地方消費税交付金	_	_	_	_	固定資産税	238, 456	62. 2	31, 025
自動車取得税交付金	7, 678	0. 2	7, 678	0. 3	うち純固定資産税	235, 763	61.5	31, 025
E油引取税交付金	,	_	_	_	軽自動車税	10, 118	2. 6	,
地方特例交付金	6, 872	0. 2	6, 872	0. 3	市町村たばこ税	27, 824	7. 3	
児童手当及び子ども手当特例交付金	3, 253	0. 1	3, 253	0. 1	鉱産税		-	
減収補塡特例交付金	3, 619	0. 1	3, 619	0. 2	特別土地保有税	_	. _	
地方交付税	2, 007, 916	58. 4	1, 746, 018	78. 0	法定外普通税	_	_	
普通交付税	1, 746, 018	50. 8	1, 746, 018	78. 0	目的税	_	_	
特別交付税	261, 895	7. 6		_	法定目的税	_	_	
震災復興特別交付税	3	0. 0	_	_	入湯税	_	. _	
(一般財源計)	2, 478, 534	72. 1	2, 216, 636	99. 1	事業所税	_	_	
交通安全対策特別交付金	548	0.0	548	0. 0	都市計画税	_	_	
分担金・負担金	4, 320	0. 1	_	_	水利地益税等	_	_	
使用料	30, 429	0. 9	611	0. 0	法定外目的税	_	_	
手数料	13, 114	0. 4	_	_	旧法による税	_		
国庫支出金	193, 700	5. 6	_	_	合計	383, 167	100.0	31, 025
国作スロ교 国有提供交付金(特別区財調交付金)	100, 700	-	_	_		000, 107	100.0	01, 020
都道府県支出金	282, 917	8. 2	_	_	区分	平成23年度	E I	平成22年度
財産収入	4, 795	0. 1	1, 551	0. 1		99. 3	96. 0	99. 2 96. 3
寄附金	5, 858	0. 1		"-	徴収率 現 _{→ □ ++ □ +1}	100.0	99. 4	100. 0 98. 7
操入金	94, 011	2. 7	_	_	(%) 年 計 中町村氏税	98. 8	93. 8	98. 7 94. 6
操越金	101, 604	3. 0	_	_	一	70.0	00.0	34.0
諸収入	58, 110	1. 7	17, 849	0.8	公営事業等への繰出		隶保険事業会	:計の状況
地方債	167, 962	4. 9	17,049	0.0_	合計 757,038		水水灰于木五	29, 140
『プロ』 うち減収補塡債(特例分) ┃	107, 302	7. 3	_	_	病院 352, 537	再差引収支		26, 844
うち臨時財政対策債	128, 162	3. 7	_	_	下水道 146,030	加入世帯数(世帯	3)	558
カラロロマグラス 大便 表入合計	3, 435, 902	100.0	2, 237, 195	100. 0	簡易水道 59,463	被保険者数(人)	7	885
火ハロロ	J, 4JJ, 3UZ	100.0	2, 201, 190	100.0	」	C/早 18	食税(料)収入	
					工小垣 国民健康保険 36,679	做保険石 🗖 🛭	度支出金 [支出金	92
					国民健康保険 30,079 70 162,329		P文山並 食給付費	303
() 中亚)					(V)吧 102, 329		大帕门貝	303

(注釈)	

・ 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

			位 千円・%)			
	目的別歳	出の状況	(単位 千円・%)			
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建	設事業費	(A)のうち充	当一般財源等
議会費	63, 226	2. 0		-		62, 923
総務費	560, 857	17. 6		39, 428		507, 866
民生費	545, 194	17. 1		´ _		353, 372
(本) 衛生費	622, 327	19. 5		5, 457		595, 662
労働費	36, 914	1. 2		-		-
農林水産業費	250, 574	7. 9		30, 176		145, 386
商工費	18, 115	0.6		00, 170		2, 311
	181, 720	5. 7		30, 951		150, 282
土木費						
消防費	89, 722	2. 8		11, 002		78, 471
教育費	282, 451	8. 9		76, 107		217, 395
災害復旧費	5, 503	0. 2		-		3, 549
公債費	530, 487	16. 6		-		523, 859
諸支出費	-	_		-		-
前年度繰上充用金	_	_		_		_
歳出合計	3, 187, 090	100.0		193, 121		2, 641, 076
						, ,
	性質別歳	出の状況	(単位 千円・%)	•		
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充	当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	1, 270, 020	39.8	1, 088, 544		1, 051, 045	44. 4
人件費	556, 975	17. 5	506, 403		493, 559	20. 9
うち職員給	299, 847	9. 4	269, 078		_	
扶助費	182, 558	5. 7	58, 282		56, 778	2. 4
公債費	530, 487	16. 6	523, 859		500, 708	21. 2
	530, 487	16. 6	523, 859		500, 708	21. 2
						19. 4
内 うち元金	486, 840	15. 3	481, 005		457, 854	
訳 うち利子	43, 647	1. 4	42, 854		42, 854	1. 8
一 一時借入金利子	-	-	- 447.040		-	-
その他の経費	1, 718, 446	53. 9	1, 417, 349		985, 448	41. 7
物件費	297, 731	9. 3	213, 298		167, 737	7. 1
維持補修費	53, 229	1. 7	17, 087		16, 328	0. 7
補助費等	768, 784	24. 1	629, 870		458, 859	19. 4
うち一部事務組合負担金	217, 241	6.8	217, 193		202, 660	8. 6
繰出金	404, 501	12. 7	380, 694		342, 524	14. 5
積立金	182, 839	5. 7	176, 400		´ –	_
投資・出資金・貸付金	11, 362	0. 4	-		_	_
前年度繰上充用金		_	_			
投資的経費計	198, 624	6. 2	135, 183			
	130, 024	0. 2	155, 165			
うち人件費 普通建設事業費	193, 121	6 1	121 624			
		6. 1	131, 634			
内うち補助	58, 085	1.8	224			
₌₁₂ フク早徴	128, 850	4. 0	127, 224			
火舌後口争未負	5, 503	0. 2	3, 549			
失業対策事業費	_	_	-			
歳出合計	3, 187, 090	100.0	2, 641, 076			

(2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)



※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	420	391	29		15	-	-	-	
2 介護保険特別会計	556	539	17	15	72	_	-	_	
3 後期高齢者医療保険特別会計	54	53	0	_	18	_	_	_	
4 簡易水道特別会計	113	113	0	_	59	764	475	_	法非適用企業
5 公共下水道事業特別会計	124	124	0	_	89	779	664	_	法非適用企業
6 農業集落排水事業特別会計	70	70	0	_	57	441	394	_	法非適用企業
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15					1				
16					11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11				
17									
18									
19					1				
20					1				
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
				***************************************			<u> </u>		

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

計公営企業会計等

算入公債費等の額

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100

	一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1	鳥取県西部広域行政管理組合	5,781	5,726	55	2	212	2,798	69	
2	鳥取県町村消防災害補償組合	79	77	3	3	-	_	_	一般会計
3	鳥取県町村消防災害補償組合	0	0	0	0	_	_	_	特別会計
4	鳥取県町村職員退職手当組合	2,962	2,017	946	946				
5	日野町江府町日南町衛生施設管理組合	235	209	27	27	_	43	22	
6	鳥取県後期高齢者医療広域連合	258	258	0	0	41	_	_	一般会計
7	鳥取県後期高齢者医療広域連合	70,881	70,734	147	147	787			特別会計
8	日野病院組合	1,613	1,484	129	129	344	1,965	1,210	
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20						1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1			
計	一部事務組合等				1,307		4,806	1,301	

569,830

25.5

27.0

(C)-(D) 1,784,757

(単年度)

(3ヵ年平均)

543,427

1,909,945

21.3

24.8

492,588

21.1

22.6

1,826,655

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

経常損益 経常損益 に味財産 半該団体 からの 出資金

当該団体 からの 補助金

平成23年度

当該団体 からの 債務保証に係る 貸付金 場接補償に係る 債務残高 負担見込額

鳥取県日野町

	たのなは おニピング 寺石	作中頂皿	正味財産	出資金	補助金	貸付金	債務残高	債務残高	負担見込額	I/HI 73
1	奥日野土地開発公社	0	0	1			•			
2	まちづくり日野	1	8	8						
3	日野町農林振興公社	2	33	7						
4										
5									•	***************************************
6					•		•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••		•	
7							***************************************	***************************************		•
					•					
8							***************************************			
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16					•				•	
17										
18										
19										
20							***************************************			
21						***************************************		•	***************************************	***************************************
22										
23										
23										
24							***************************************			
25										
26					***************************************		***************************************			
27										
28										
29										
29 30										
31					•				•	
					•		•			
32 33 34										
33										
34										
35 36										
36										
37										
38										
39										
40				•	•	•	•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••		•	
							***************************************	•	•	
41					•••••••••••••••••••••••••••••••••••••					
42		•			***************************************	•	•			
43										
44										
45										
46									•	
47								•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••	•	***************************************
48										
49					•					
50					•	·	••••••			***************************************
51							***************************************		***************************************	·
51										
52 53						-	***************************************	***************************************	***************************************	•
53										
54										
55										
56										
57							***************************************			
58										
59					•		•		•	•••••••••••••••••••••••••••••••••••••••
60					***************************************					
61					•		***************************************	•	•	••••••••••••••••••••••••••••••••••••
62					•				•	
63										
64					***************************************				***************************************	
	1	1					***************************************		***************************************	
65										
66							***************************************			
66 67										
66 67							***************************************		***************************************	
66 67										(au ma
66 67 68 69										
66 67 68 69 70										
666768697071										
66676869707172										
666768697071										
66676869707172										
66 67 68 69 70 71 72 73										
66 67 68 69 70 71 72 73 74										
66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76										
66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76										
66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77										
66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79										
66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79										
66 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 80 81										
66 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82										
66 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82	也方公社・第三セクター等									
66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82	地方公社・第三セクター等地方公共団体が①25%以上出資している記述	去人又は②財	政支援を行っ	ている法人を	記載している。					

実質公債費比率(1	千円•%)									将	F 来負担比率	(千円・%)				
区分	平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比		区分		平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比	内訳	平成21年度 平	成22年度	平成23年度	分母比
元利償還金	677,526	603,747	530,487	29.0	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高		3,851,484	3,485,418	3,166,540	173.4	PFI事業に係るもの	_	_	_	
減債基金積立不足算定額	_	_	_	_		債務負担行為に基づく支出予定額		196,511	174,532	152,551	8.4	いわゆる五省協定等に係るもの	_	-	_	ı
準 満期一括償還地方債に係る年度割相当額	_	_	-	_		公営企業債等繰入見込額		3,071,958	2,937,065	2,743,104	150.2	国営土地改良事業に係るもの	_	173,704	152,137	8
元 公営企業債の元利償還金□対する繰入金	291,494	281,733	181,189	9.9		組合等負担等見込額		192,290	141,249	90,791	5.0 億	森林総合研究所等が行う事業に係るもの	196,511	828	414	0
償 組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	55,896	55,791	150,944	8.3		退職手当負担見込額		577,773	509,036	468,110	25.6 負	。 地方公務員等共済組合に係るもの	_	-	_	ı
金 債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	21,981	21,981	21,981	1.2		設立法人等の負債額等負担見込額		_	-	-	_ 担	依頼土地の買い戻しに係るもの	_	-	_	
一時借入金の利子	_	-	_	_		連結実質赤字額		_	_	-	- 第	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	_	-	-	ł
合計 (A)	1,046,897	963,252	884,601			組合等連結実質赤字額負担見込額		_	_	_	_	損失補償・債務保証の履行に係るもの	_	-	-	ı
内訳	平成21年度	平成22年度	平成23年度	分母比		合計	(E)	7,890,016	7,247,300	6,621,096		引き受けた債務の履行に係るもの	_	-	-	ı
PFI事業に係るもの	_	_	-	_	充当可能 財源等	充当可能基金		723,944	974,925	1,289,958	70.6	その他上記に準ずるもの	_	-	_	
いわゆる五省協定等に係るもの	_	-	-	_	₩ W 1	充当可能特定歳入		123,477	107,715	81,554	4.5	公共下水道事業特別会計	797,640	730,978	663,674	36.
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	21,981	21,981	21,981	1.2		基準財政需要額算入見込額		4,287,554	4,029,794	3,769,362	206.4	簡易水道特別会計	547,884	509,473	475,420	26.
務地方公務員等共済組合に係るもの	_	-	-	_		合計	(F)	5,134,975	5,112,434	5,140,874		E業債等 人見込額 農業集落排水事業特別会計	471,152	431,849	393,665	21.
担社会福祉法人の施設建設費に係るもの	_	-		_	将来負担比	率((E)-(F))/((C)-(D))×100		154.3	111.7	81.0						ł
行 損失補償・債務保証の履行に係るもの	_	_	-	_								その他の会計	_	-	_	<u> </u>
為 引き受けた債務の履行に係るもの	_	-	_	_								地方道路公社に係る将来負担額	_	-	_	ł
その他上記に準ずるもの	_	_	_	_	侵	全化判断比率 平成23年度	早期健全	化基準 財政	攻再生基準			公社・ Eセク等 土地開発公社に係る将来負担額	_	-	-	
利子補給に係るもの	_	-	-	_	実質	赤字比率 -		15.00	20.00			その他第三セクター等に係る将来負担額	_	-	_	
持定財源の額 (B	21,528	13,957	6,628		連絲	ま実質赤字比率 -		20.00	30.00							
票準財政規模 (C	2,354,587	2,453,372	2,319,243		実質	辽公債費比率 22.6		25.0	35.0							

連結実質赤字額

1,984

1,533

将来負担比率

(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

3,688 人(H24.3.31現在) 134.02 k m² 3,435,902 千円 22.6 % 入 出 3, 187, 090 千円 81.0 % 質 収 204,391 千円 H20 I - 1 H21 I - 12,319,243 千円 標準財政規模 I — 1 H23 H22 地方債現在高 3, 166, 540 千円

◆ 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

100.0

200.0

300.0

400.0

236.1

H19

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

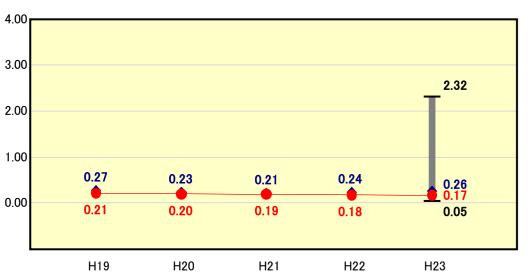
※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※類似団体内平均値は、充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

財政力 財政力指数 [0.17]



類似団体内順位 39/78

全国平均 鳥取県平均 0.51

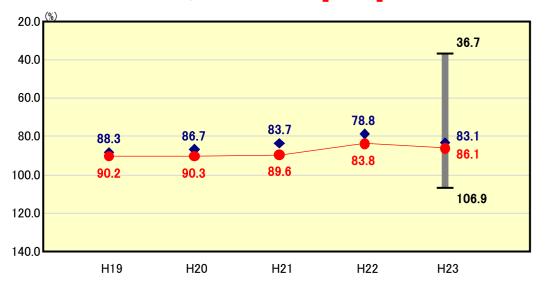
0.34

財政力指数の分析欄

人口の減少や全国平均を上回る高齢化率(平成24年3月末42.53%)に加 え、町内に中心となる産業がないこと等により、財政基盤が弱く、類似団体 平均を下回る状態が続いている。平成17年度から行財政改革に取り組んで おり、歳入の確保、定数管理・給与の適正化をはじめ、徹底した歳出削減を 実施している。今後も更なる行財政改革に取り組み、歳入確保に努める。

財政構造の弾力性

経常収支比率 [86.1%]



類似団体内順位 42/78

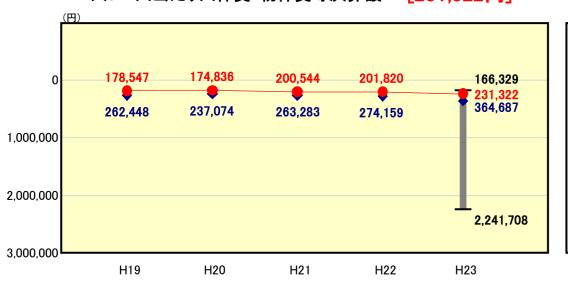
全国平均 90.3

経常収支比率の分析欄

平成17年度から行財政改革に取り組んでおり、歳入の確保、定数管理・給 与の適正化をはじめ、徹底した歳出削減を実施することにより、義務的経費 の削減に努めているが類似団体平均に比べ高い数値となっている。大きな 要因としては、公債費があげられるが、繰り上げ償還等を実施するもすぐに 下げられるものではないため、今後も事務事業の見直しを行いながら経常 経費の削減を図る。

人件費・物件費等の状況

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [231,322円]



類似団体内順位

全国平均 119,477

鳥取県平均 129,143

鳥取県平均

87.4

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

10/78

類似団体に比べ人口1人当たり人件費・物件費等決算額は低くなっている。 これは平成17年度から行財政改革に取り組んでおり、職員給与のカットや 退職者不補充等による職員数の削減をはじめ、事業の見直しによる徹底し た歳出削減を実施したことによるものである。今後も更なる事務事業の見直 しによる徹底した歳出削減を図る。

平成23年度

鳥取県日野町

81.0

167.1

H23

類似団体内順位

全国平均

鳥取県平均 113.3

68/78 将来負担比率の分析欄

地方債残高の減と新規地方債発行の抑制に合わせ、普通交付税の増額に 伴う標準財政規模の増、財政調整基金などの充当可能基金の増額により、 年々将来負担比率は減少傾向にある。ただし、類似団体と比較すると依然 高い数値となっており、今後も公債費の抑制などにより財政健全化を図る。

69.2

公債費負担の状況

H20

実質公債費比率 [22.6%]

将来負担の状況

154.3

H21

[81.0%]

111.7

H22

将来負担比率



類似団体内順位 78/78 全国平均

鳥取県平均 9.9 17.0

実質公債費比率の分析欄

平成初頭から積極的に起債事業を実施したこと及び鳥取県西部地震による 貸付金の借り入れなどの結果、財政規模に比べ多額の公債費となり、類似 団体に比べかなり高い数値となっている。。現在は、公債費の償還ピークが 過ぎ、行財政改革以降の地方債抑制や繰上償還、震災に対する貸付金の 借換えなどにより実質公債費比率は年々減少傾向にある。引き続き、地方 債の抑制に努め、財政健全化を図る。

定員管理の状況

人口千人当たり職員数 [15.46人]



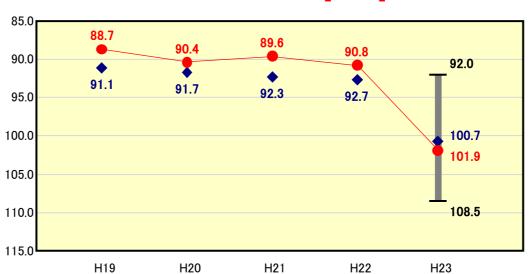
類似団体内順位 17/78 全国平均 7.17 鳥取県平均 7.82

人口千人当たり職員数の分析欄

退職者不補充等による職員数の削減などの行財政改革への取り組みによ り、類似団体の比べ人口千人当たりの職員数は低くなっている。しかしなが ら過疎地域に位置する本町では、全国平均を大きく上回る少子高齢化に加 え、町内に中心となる産業がないこと等により、今後も人口が減少すると見 込まれる。今後は更なる事務事業の見直しなどにより、適切な職員の定数 管理に努める。

給与水準 (国との比較)

ラスパイレス指数 [101.9]



48/78

全国市平均 全国町村平均 106.9 103.3

ラスパイレス指数の分析欄

類似団体内順位

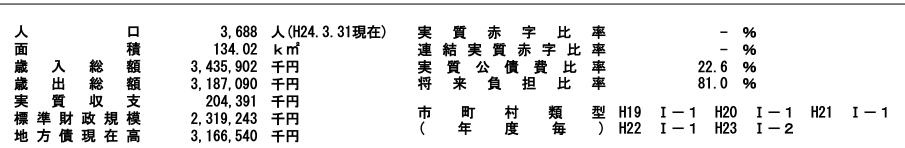
平成16年度から平成23年度まで職員の給与カットを実施してきたが、平成 24年度は給与カットを行っていない。このことにより類似団体よりやや高い数 字になっているが、今後も職員の定数管理・給与の適正化に努めていく。な お平成23年度の指数は101.9%となっているが、これは国家公務員の時限 的な(2年間)給与改定特例法によるもので、特例を考慮しない場合は94. 0%となっている。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成23年度

鳥取県日野町

経常収支比率の分析



当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

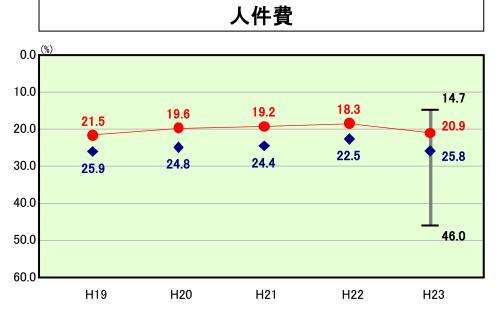


全国平均 13.1 鳥取県平均 11.7

物件費の分析欄

類似団体内順位

平成17年度から行財政改革に取り組んでおり、類似団体と比べ物 件費の経常収支比率は低くなっている。今後も事務事業の見直し を行いながら経常経費の削減に努める。



類似団体内順位

全国平均 25.4

鳥取県平均 21.0

補助費等

11.4

12.4

H20

12.1

H19

10.0

20.0

30.0

10.7

19.0

H22

12.3

19.4

30.8

H23

類似団体内順位 補助費等の分析欄

全国平均 10.1

鳥取県平均 10.3

平成17年度から行財政改革に取り組んでいるものの、類似団体と 比べ補助費等の経常収支比率は高くなっている。これは一部事務 組合である病院事業への負担金が主なものとなっている。近年は 不採算地区の病院事業について地方財政措置がなされていること もあり、地方交付税措置されたものについては全額負担しているこ とが大きい。その他補助費等については、既に補助金の見直しは 実施しており、更なる精査は必要であるが今後も同じような数値で 推移すると見込んでいる。

扶助費

人件費の分析欄

平成17年度から行財政改革に取り組んでおり、類似団体と比べ人 件費の経常収支比率は低くなっている。今後も職員の定数管理・ 給与の適正化に努める。

類似団体内順位 全国平均 鳥取県平均 10.5 43/78 7.4

扶助費の分析欄

0.7

2.5

6.6

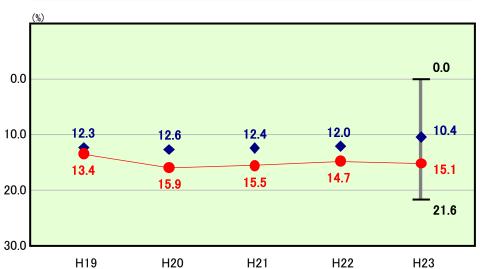
H23

H22

平成17年度から行財政改革に取り組んでおり、類似団体と比べ扶 助費の経常収支比率は低くなっていたが、障害者自立支援費など の制度的な扶助費の増加により数値が伸びてきており、また平成2 4年度からは福祉事務所が設置されたことから扶助費の比率はさ らに上昇することが見込まれている。

その他

H21



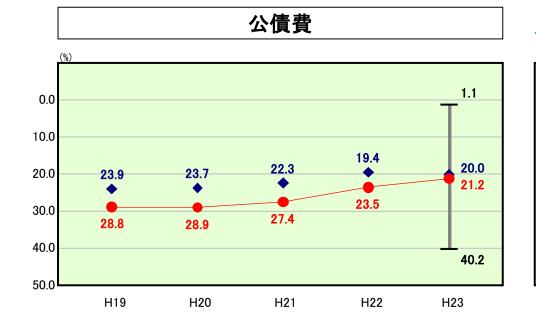
類似団体内順位 67/78

全国平均 12.2 鳥取県平均 15.1

鳥取県平均

その他の分析欄

その他については、類似団体と比べ経常収支比率は高くなってい る。その他の主なものは特別会計への繰出金となっている。公営企 業会計ではすでに起債償還のピークは過ぎたものの依然として公 債費が高い状況にある。公共下水道事業では平成18年度に使用 料の値上げを実施(約30%増)したものの、人口の減少により使用 料収入は伸び悩んでおり、赤字補填的な繰出を強いられている。 今後も特別会計の更なる経費節減を行い、一般会計からの繰出が 少しでも減らせるよう努める。



H21

H19

H20

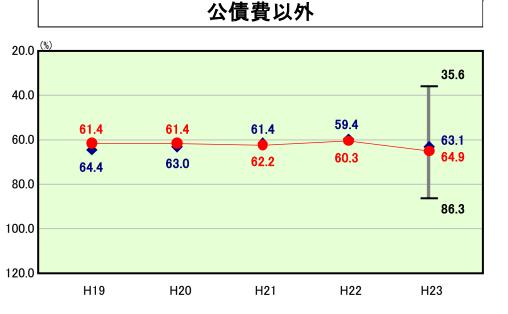
類似団体内順位

全国平均

鳥取県平均 21.9

公債費の分析欄

平成初頭から積極的に起債事業を実施したこと及び鳥取県西部地震による貸付金の借り入れなどの結果、財政規模を大きく超える公 債費となっていたが、地方債の繰上償還や震災に対する貸付金の 借換などにより数値は改善してきているものの類似団体に比べ高 い数値となっている。現在は、公債費の償還のピークが過ぎ、行財 政改革以降の地方債抑制により公債費の比率は年々減少傾向に ある。引き続き、地方債の抑制に努める。



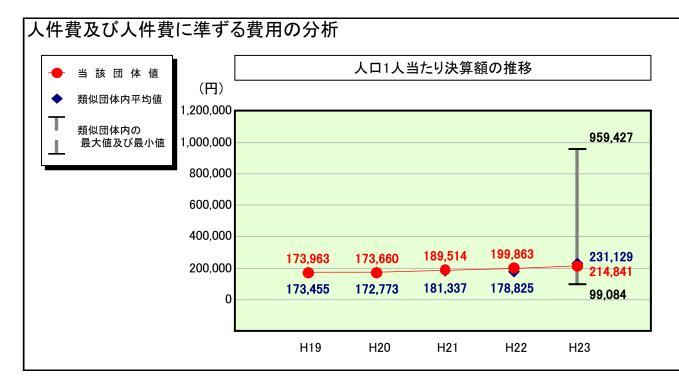
公債費以外の分析欄

類似団体内順位

公債費以外については、類似団体と似通った数値となっている。平 成17年度から行財政改革に取り組んでおり、歳入の確保、定数管 理・給与の適正化をはじめ、徹底した歳出削減を実施することによ り、義務的経費の削減に努めている。今後も事務事業の見直しを 行いながら経常経費の削減に努める。

全国平均

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)



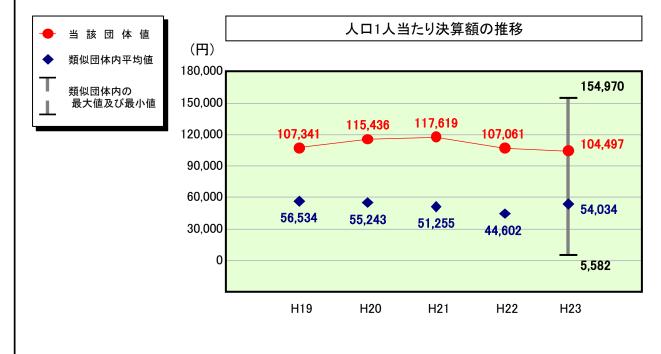
人件費及び人件費に準ずる費用 当該団体決算額 人口1人当たり決算額 類似団体平均(円) 対比(%) (千円) 当該団体(円) 人件費 556, 975 151, 024 191, 676 **▲** 21.2 賃金 (物件費) 18, 641 5, 055 19, 986 **▲** 74.7 一部事務組合負担金(補助費等) 76, 232 20, 670 23, 471 **▲** 11.9 公営企業 (法適) 等に対する繰出し (補助費等) 公営企業 (法適) 等に対する繰出し (投資及び出資金・貸付金) 159, 501 43, 249 2, 861 1. 411. 7 公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金) 35, 801 9, 707 8, 764 10.8 事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費) 3, 931 **▲** 14,864 **▲** 54, 818 **1**9, 560 **▲** 24.0 ▲退職金 合計 792, 332 214, 841 231, 129 **▲** 7.0

参考

▲特定財源の額

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	15. 46	21. 42	▲ 5.96
ラスパイレス指数	101. 9	100. 7	1. 2

|公債費及び公債費に準ずる費用の分析



	当該団体決算額		人口1人当たり決算	額
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	530, 487	143, 841	143, 977	▲ 0.1
積立不足額を考慮して算定した額	_	_	-	_
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	38	_
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	181, 189	49, 129	31, 793	54. 5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	150, 944	40, 928	8, 032	409. 6
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	21, 981	5, 960	2, 200	170. 9
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	_	77	_

▲ 6, 628

492, 588

▲ 1, 797

▲ 133, 565

▲ 9,486

122.597

▲ 81. 1

8.9

普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額合計 385, 385 104, 497 54, 034 93. 4 ※平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析 人口1人当たり決算額の推移 (円) 300,000 250,000 200,000 150,000 100,000 50,000 H19 H20 H22 H23 H21 ── 当該団体値 ◆ 類似団体内平均値

普通建設事業費 当該団体決算額 人口1人当たり決算額 (千円) 当該団体(円) 増減率(%)(A) 類似団体平均(円) 増減率(%)(B) (A)-(B)H19 71, 320 17, 502 **▲** 65. 2 98, 969 **▲** 14.0 **▲** 51.2 うち単独分 34, 679 8, 510 **▲** 78. 2 58, 162 **▲** 19.6 **▲** 58.6 H20 105, 697 26, 611 52. C 109, 128 10. 41.7 91. 7 86. 9 うち単独分 4. 8 64, 785 60, 972 16, 310 H21 237, 097 215, 547 61, 218 55, 654 130.0 209, 170 38. 3 91. うち単独分 241. 117, 028 91. 149.3 234, 625 179, 834 220, 780 105, 334 H22 61, 890 5.6 **4**. 5 うち単独分 47, 437 **▲** 10.0 **▲** 14.8 **▲** 4.8 **▲** 7.6 H23 193, 121 52, 365 **▲** 15. 4 203, 567 **▲** 7.8 うち単独分 128, 850 34, 938 **▲** 26.3 121, 137 15.0 **▲** 41.3 過去5年間平均 17. 2 168, 372 43, 917 20. 5 168, 323 3.3 92, 527 26. 3 124, 739 うち単独分

公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

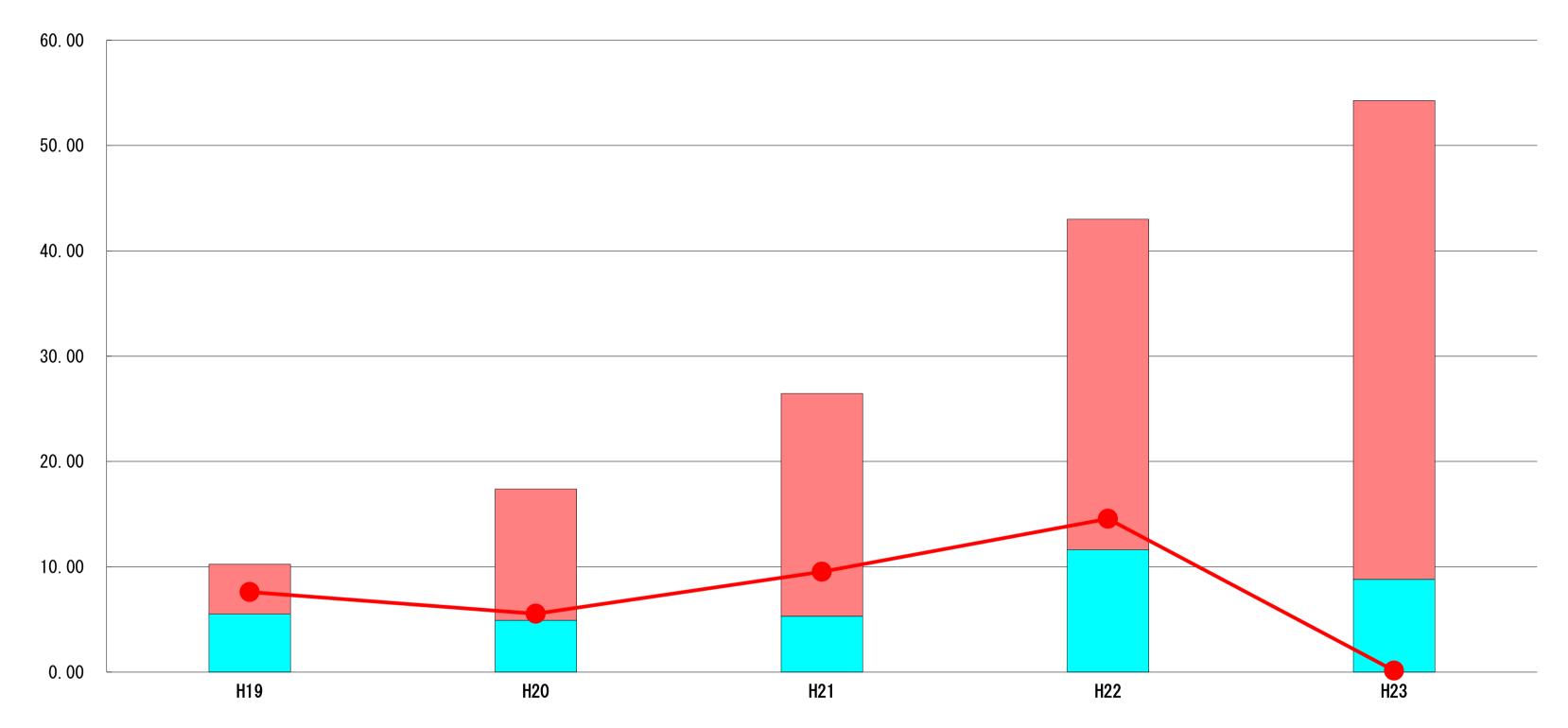
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として

(5) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

平成23年度

鳥取県日野町

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

区分	H19	H20	H21	H22	H23
財政調整基金残高	4. 71	12. 46	21. 14	31. 39	45. 46
実質収支額	5. 53	4. 92	5. 31	11. 62	8. 81
一 実質単年度収支	7. 60	5. 54	9. 53	14. 56	0. 15

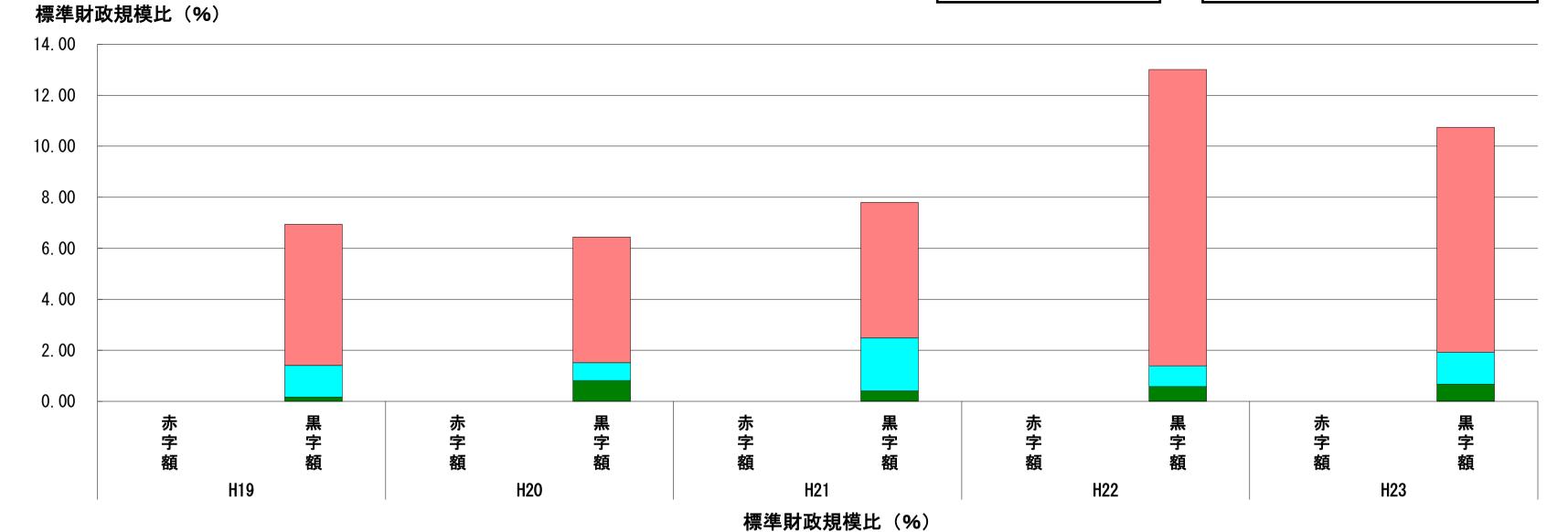
分析欄

平成17年度から行財政改革に取り組んでおり、歳入の確保、定数管理・給与の適正化をはじめ、徹底した歳出削減を実施することにより、平成19年度と比較しても数値は改善されつつある。ただし平成23年度は単独での建設事業(若者定住事業)を行ったこともあり、財政調整基金を一部取り崩したため、実質単年度収支は下がっている。なお、財政調整基金残高は増えており、今後も更なる財政の健全化に努める。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

平成23年度

鳥取県日野町



					17V — 141 W/ 190	
会計	年度	H19	H20	H21	H22	H23
	一般会計	5. 53	4. 92	5. 31	11. 62	8. 81
	国民健康保険特別会計	1. 24	0. 70	2. 08	0. 80	1. 26
	介護保険特別会計	0. 17	0. 82	0. 40	0. 58	0. 66
	後期高齢者医療保険特別会計	_	0. 00	0. 01	0. 01	0. 01
	簡易水道特別会計	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
	公共下水道事業特別会計	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
	農業集落排水事業特別会計	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00
	その他会計(赤字)	-	_	_	_	_
	その他会計(黒字)	0. 00	0. 00	0. 00	0. 00	_

分析欄

すべての会計で黒字決算となっており、今後もすべて会計において事務 事業の点検を行いながら財政の健全化に努める。

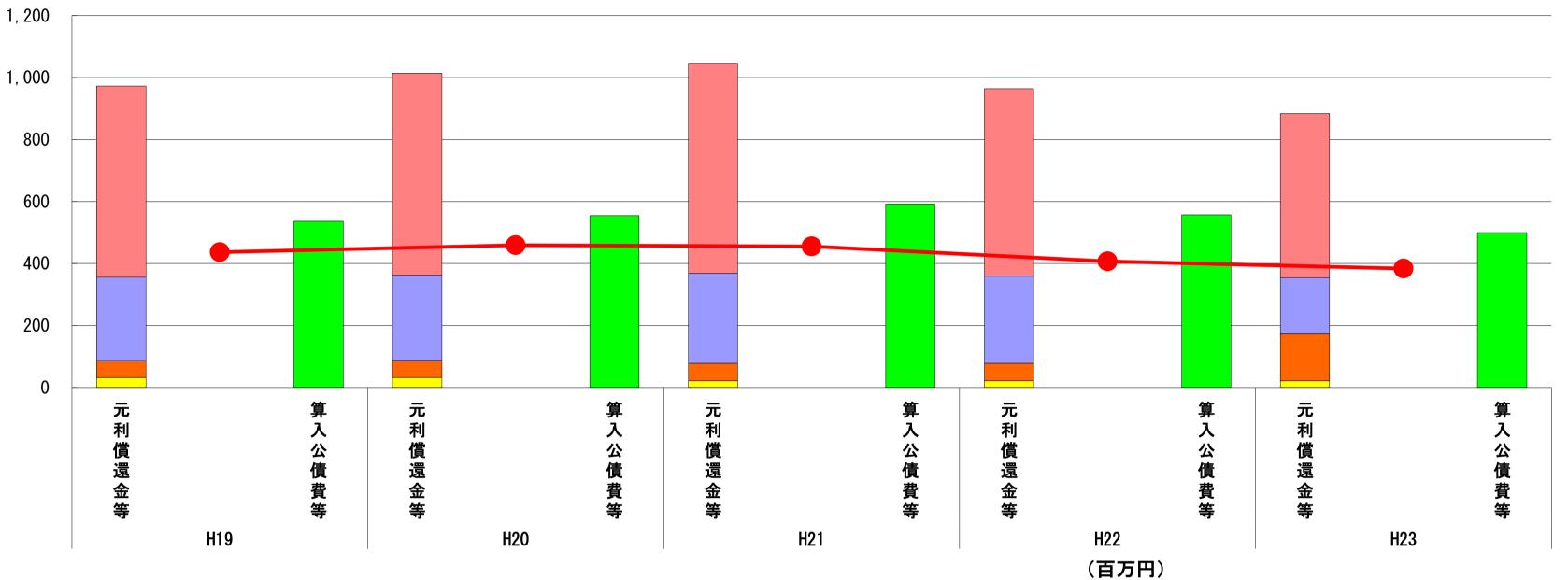
[※]平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(7) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

平成23年度

鳥取県日野町





							(H))))
分子の構造		年度	H19	H20	H21	H22	H23
元利償還金等(A)		元利償還金	617	651	678	604	530
		減債基金積立不足算定額	ı	_	1	_	_
		満期一括償還地方債に係る年度割相当額	ı	_	1	_	_
		公営企業債の元利償還金に対する繰入金	269	275	291	282	181
		組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	55	56	56	56	151
		債務負担行為に基づく支出額	32	32	22	22	22
		一時借入金の利子	0	_	1	_	-
算入公債費等(B)		算入公債費等	536	555	592	557	500
(A) - (B)	-	実質公債費比率の分子	437	459	455	407	384

分析欄

平成初頭から積極的に起債事業を実施したこと及び鳥取県西部地震による貸付金の借り入れなどの結果、財政規模に比べて多額の公債費となっている。現在は、公債費の償還ピークが過ぎ、行財政改革以降の地方債抑制や繰上償還、震災に対する貸付金の借換えなどにより実質公債費比率は年々減少傾向にある。引き続き、地方債の抑制に努め、財政健全化を図ることとしているが、今後数年間は、震災関連の借入金の償還がピークを向え、それに対しての算入公債費等の財政措置がないので、実質公債費比率の分子は横ばいが続く見込みである。

※平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は減債基金積立不足算定額を含んでいる。

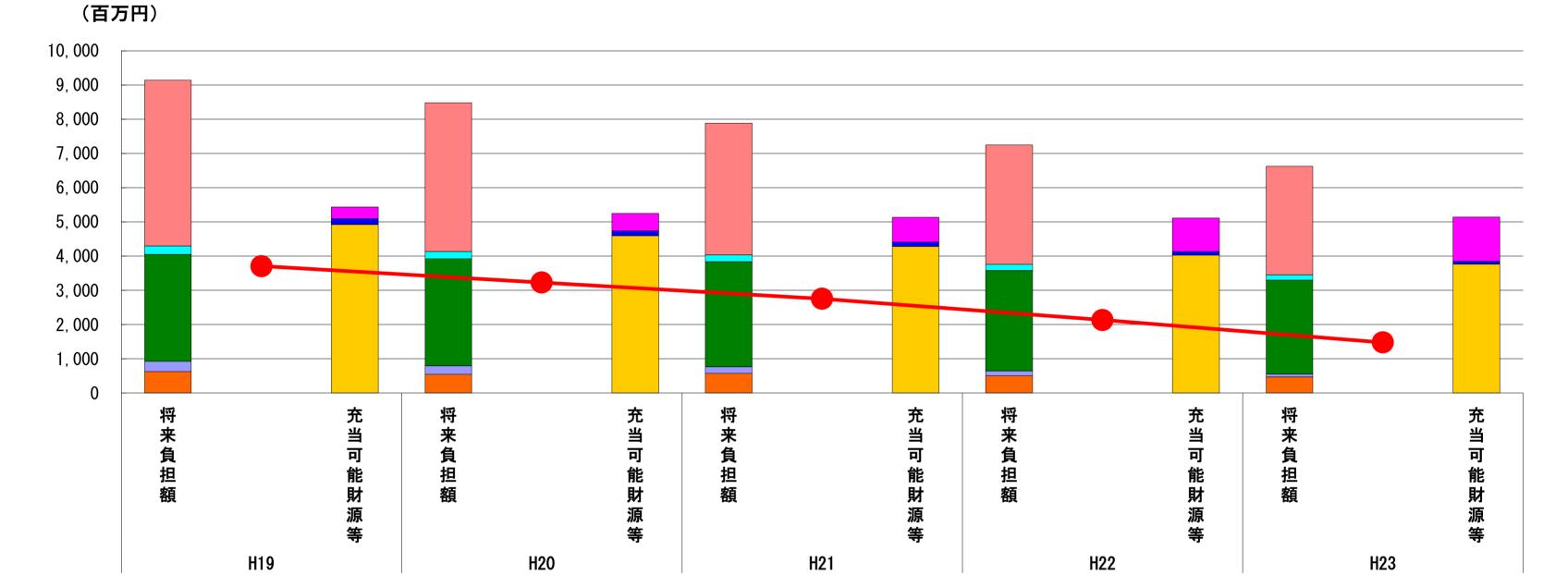
[※]平成21年度決算以降の算入公債費等は特定財源の額を含んでいる。

[※]平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(8) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

平成23年度

鳥取県日野町



	(百万円)		
H22	H23		

分子の構造	年度	H19	H20	H21	H22	H23
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高	4, 842	4, 339	3, 851	3, 485	3, 167
	債務負担行為に基づく支出予定額	251	218	197	175	153
	公営企業債等繰入見込額	3, 128	3, 128	3, 072	2, 937	2, 743
	組合等負担等見込額	292	243	192	141	91
	退職手当負担見込額	630	551	578	509	468
	設立法人等の負債額等負担見込額	_	-	ı	ı	_
	連結実質赤字額	-		1	I	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	_	_	ı	1	_
	充当可能基金	343	508	724	975	1, 290
充当可能財源等(B)	充当可能特定歳入	166	143	123	108	82
	基準財政需要額算入見込額	4, 927	4, 596	4, 288	4, 030	3, 769
(A) - (B)	一 将来負担比率の分子	3, 708	3, 231	2, 755	2, 135	1, 480

分析欄

平成初頭から積極的に起債事業を実施したこと及び 鳥取県西部地震による貸付金の借り入れなどの結 果、財政規模に比べて多額の地方債残高となってい る。現在は、行財政改革以降の地方債抑制により地 方債残高を主に将来負担額は下がってきている。ま た、充当可能財源等については、基準財政需要額 算入見込額が下がるものの財政調整基金等への積 み増しの結果、ほぼ横ばいとなっている。今後も計 画的な地方債の発行に努め、財政健全化を図る。

[※]平成24年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。